# 育かながわ



#### ◆発行責任者

神奈川県手をつなぐ育成会 会長 植松 みさご

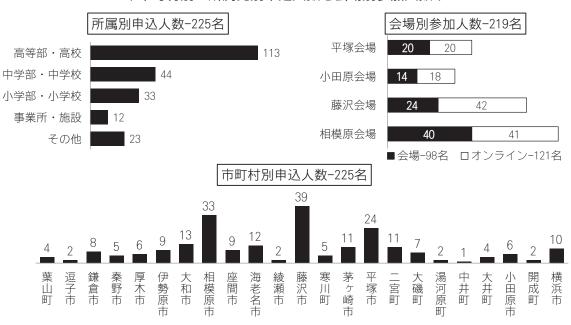
〒 221-0825 横浜市神奈川区反町 3-17-2 TEL:045-323-1106 FAX:045-324-0426 E-mail ijkanagawa\_k@yahoo.co.jp URL https://ikusei-kanagawa.jp/

## 研修会『20歳を迎える障害のある方のこれからの暮らし』

~平塚・小田原・藤沢・相模原の4会場を無事に終えて~

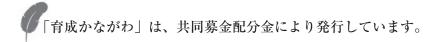
県内特別支援学校保護者を対象にした研修会は2ヶ月に亘り、4カ所の会場・オンライン合わせて225名の申し込みがあり、当日は219名の方にご参加いただきました。中学部・小学部の参加も多く幅広い年齢層での関心の高さが伺えました。申込期日に余裕のあった藤沢・相模原の参加が多く、会場の変更や会場からオンラインへの変更など選択肢が多かったことが良かったようです。参加者アンケートからも"良かった"、"次回を期待する"という声を多くいただきました。初めての試みでしたが今後も対面とオンラインを上手に併用しながら皆さんの「これが知りたい!」にお応えできる機会を作っていきます。

#### ◇市町村別・所属先別申込人数と会場別参加人数◇



#### ◇参加者のアンケートより◇

- ・漠然と高校を卒業したらどうなるのだろうと心配をしていましたが、子どもが卒業するまでに考えることや準備しておくことについて詳しくお話を聞かせていただいたので、家族で話をし出来ることから始めていきます。
- ・子の送迎等で身動きが取れない為オンラインで参加でき感謝しております。 進路決定を進めている時期なのでとても勉強になりました。どこにいても子どもが成人しても心豊かに過ごす為には現実的にお金や制度など土台を作ることが欠かせないと痛感しています。
- ・よく分からなかった内容がダイジェスト的に網羅されていたので、大変勉強になりました。





#### ◇講師 又村あおい氏◇ (一社) 全国手をつなぐ育成会連合会常務理事

令和3年は、県内を4会場回らせていただきました。幸い、新型コロナの影響も少ない時期でもあり、また、事務局の皆さまがオンライン配信環境を整えてくださったこともあわせて、多くの方にご参加いただくことができました。ありがとうございました。

研修会では、大きく(1)在学中に活用できる障害福祉サービス(2)卒業進路と関係する障害福祉サービス(3)ライフステージに応じた「お金」のことの3点を取り上げました。本人の将来を考えて、放課後等デイサービスだけに頼らない生活の組立ても重要です。また、卒業後の進路についても、確かに支援学校高等部(高校)を卒業するタイミングは重要な人生のステージではありますが、更にその先、本人が25歳、30歳になった時の暮らしぶりを考えることが重要です。「卒業進路」ですから、ついつい「卒業したらどこに所属するか」を考えがちですが、むしろ卒業進路とは「何をしたいのか(将来の暮らしはどうありたいのか)」を考える時期であることに意識を向けていただければと思います。そして、暮らしていく上ではお金とのお付き合いが不可欠です。残念ながら、現状では障害基礎年金だけで標準的な生活費を賄うことができません。(知的障害者の家族同居率が高い背景の1つともされています)お金のことだけを考えてしまうと日々の暮らしが窮屈になってしまいますから、あくまでも折に触れて・・くらいで良いと思いますが、本人が1人で暮らすことになった場合の必要経費と収支は計算しておくことをお勧めします。

#### ◇お手伝いいただいた方の感想◇

お手伝いいただいた皆様ありがとうございました!

本人の父親として参加させていただきました。打合せはオンライン会議で行われ、担当の方の熱意を強く感じ、新鮮で刺激になりました。会場とオンラインの開催で OR コードを使ってスマホからも申込いただけるようにしました。申込フォームの作成や申込者へのメール送信も初めての経験でしたが、参加者が多くなる毎に手応えを感じました。育成会の家族の力も合わせていきましょう。 (二宮支部 北山 泰文)

県の総会時に平塚支部のオンラインのお手伝いをしました。その経験からカメラや映像にもっと改善の必要があるのではと感じていました。研修会の最初の会場が平塚ということもあり会場設営の手伝いを母から頼まれ、インターネットで検索しながら試行錯誤で臨みました。どの会場も大きなトラブルもなく開催でき皆さんにも喜んでいただけてほっとしています。 (平塚支部 鈴木 貴博)

「会長、この研修会無謀です」と厳しい助言を頂いたのはコロナ禍の続く夏の終わり頃でした。この2年育成会としての活動が制限され続けている焦りが、今まで経験したことのないweb申し込み、オンライン併用という難題を抱えた開催になってしまいました。私達育成会は、障害のある方の意思が尊重され、人権が守られ、生涯に亘って安心してあたりまえの暮らしができることを願って活動しています。その「安心」を支える「障害基礎年金」については正確な情報提供が必須だと考えていました。そこで神奈川県教育局と連携をとる機会、学齢期の障害のあるお子さんをお持ちの保護者の方に「これからの暮らし」を見据えて質の高い情報をお届けする機会、この二つをつくる思いから企画するに至ったのです。「無謀な」研修会は、理事3名とそのご家族、各支部の皆様と全育連又村常務理事と多くのご支援により「無事」に開催できました。次年度からも神奈川県特別支援教育課を初め関係各機関と連携をとり、育成会だからこその、正しい情報が提供される「研修会」の開催を継続していきたいと考えています。 (会長 植松 みさご)



## 虐待について考えよう

平成28年に相模原で発生した事件から5年が経過しました。県は、 「津久井やまゆり園再生基本構想」を策定し、利用者の意思決定支 援や、津久井やまゆり園、芹が谷やまゆり園の整備に取り組んでき ました。私達育成会からも県関係会議への出席、意見書の提出など 当事者団体としての役割を果たして参りました。ここで改めて一人

の会員として出来ることは何か、とりわけ人権侵害にあたる「虐待」について、皆さんと考える機 会を設けました。以下、虐待についての事前アンケート調査のまとめと研修会についてお伝えします。

12月2日 反町に移転した神奈川県社会福祉センターにて大塚晃先生(当事者目線の障害福祉に 係る将来展望検討委員会委員)をお迎えして『虐待とは・・・』の資料解説と、津久井やまゆり園、 福岡カリタス、袖ヶ浦福祉センター等の虐待事例についてお話し頂きました。その後事前アンケー ト調査での私達が日頃疑問に思うモヤモヤ感にご意見を頂きました。

以下、人権・啓発委員会よりアンケート集計の報告です。

未回答

① 家庭以外の虐待疑いを目にしたことがあるか

ある51%

ない 42%

7%

過去に起こった出来事で、心を痛めたり腹立たしくなった思いが今でも続いていて苦しんでいる 人も多いようです。目撃現場としては学校・施設が上位にあげられていました。 未回答

② 家庭内で虐待疑いと感じたことがあるか

ある 59%

ない22%

19%

直接支援者が自らの関わりに疑問を持ち、誰にも相談せずに自らを責めるケースが多く回答され ていました。 ネグレクト

身体的虐待

③ 家庭内で虐待疑いの種別

心理的虐待 69%

子育ての大変さから、子どもに精神的苦痛を与えていたと思っている人が多いようです。 また、虐待かどうかの疑問も様々出されたので、今回大塚先生よりご意見を頂きました。

何が虐待に当たるのかを私達家族が知り、支援者・地域の方々・教職員等と共有しながら個別支 援計画を作っていく必要があります。育成会が大切にしている意思決定を周囲の人間がどう向き合 うのか、「人としての尊厳」が守られなければ親亡き後の心配が軽減することはありません。私達が 虐待について意見交換や研修を繰り返し行うことで、人権啓発を社会に周知し、本人にとっての最 善な生活に近づけていく事ができるのではないでしょうか。

大塚先生のお話しで印象に残った2つの言葉「緊急やむを得ない場合とは、切迫性・非代替性・ 一時性の3点が揃っていなくてはならない」「本人が嫌がることは虐待の疑いがあると考えてよいで しょう。」を、常に持ち合わせていたいと思います。 (人権・啓発委員会 土屋 郁英)



#### ◇判断のつかない虐待について〜大塚先生の回答より〜◇

- 施設で一日中同じ課題をやっている利用者。全部終わるとま た最初から始めることを延々と繰り返す事を何年間も続けて いた。職員の声かけや関わりはトイレなど移動するときだけ。 これは虐待か。
- 回答 どんな重度の方でもバリエーションをつけるべき。例えば粘 土を握っているだけの活動なら、それを焼き物して作品にす るなど、"生産性"に繋げたい。同じ事を繰り返すのは本人が「落ち着く」「好きだから」と せずに、他の手立ても考えていく支援者の工夫が必要。
- 声かけをするときに「この作業が終わったらおやつを食べよう」ではなく、「この作業をやら ないとおやつが食べられないよ」と否定的な言葉になってしまう事が多い。それが親しみを 込めた言い方でも虐待になるのか。
- 「この作業が終わったら早くおやつが食べられるよ」とリフレーミング(ポジティブに言い換 えること)してみる。「叱る」ではなく「ほめる」ことを大切にすること。こういった声かけ を乳幼児期からしていくと、自己肯定感を持てるお子さんに育っていく。大人になってから の強度行動障害を防げる場合が多い。



#### ◇研修会に参加した方からの感想◇

・これは虐待なのか?と曖昧な事が多い中、大塚先生は、どんな事があったというより、本人の立 場からどう思うか?辛いと思ったなら、虐待なのではないかとおっしゃっていたことが心に残っ ています。本人の「辛い」を理解してあげる事が改めて大切だと感じました。 親はもちろんのこと、本人の辛い気持ちを理解してくれる人を増やす努力もしていかなくてはと

思いました。改めて虐待について考える事が出来、今回の研修会は勉強になりました。

(弘済学園 小野寺 見芳)

・アンケートを行って感じたのは、表面化していない問題が多いということでした。日常生活の中 で当たり前のように思われている"しつけ"や"支援"も虐待の"はじまり"になりうるからです。 では、ことばに因る訴えが苦手な方の声をだれが拾うのでしょうか?それもやはり幼い頃から身 近で行動を見守っていた"家族"です。中にはひとりで子育てを頑張っている方も多いと思います。 この研修会でわかったことは子育て支援(ペアレント・プログラム)と専門分野を交えた相談支 援チームが大切ということでした。

私は支援者へのカウンセリング支援も大切だと思っています。支援者をひとりぼっちにしない。 支援者への感謝の気持ちを伝えることで、より良い支援へとつながります。それは相談支援事業 の鍵になると思います。 (伊勢原支部 高橋 悦子)

# 未来あんしんサポート

NEW 2020年7月より第一フロンティア生命の一時払タイプの生命保険の取り扱いを開始しました。

「知的障がい」や「自閉症」等の障がいのあるお子さまのために "如わかま まと" キャポートオス デ提案です

# 

障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配…

この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。 残したお金をこの子が 使い切れない時のことも考えておきたい。

#### 「生命保険」と「信託」が "親御さまの想い"を 確実に未来へのこします

『未来あんしんサポート』は、(株)ジェイアイシーが ご提案する生命保険と生命保険信託をあわせた サービスの総称です。

お問合せや資料のご請求はこちらへ 未来あんしんサポートに関するお問い合わせ ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル 

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポート リーフレット」をご覧ください。 ●㈱ジェイアイシーは「個人情報保護方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。 その内容は、㈱ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。 ●当資料は、2020年7月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。

[生命保険募集代理店·信託契約代理店]

## 株式会社ジェイアイシー

本 社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F ホームページ www.jicgroup.co.jp

[所属信託会社]

みずほ信託銀行株式会社

[生命保険引受保険会社]

第一フロンティア生命保険株式会社 または

FWD富士生命保険株式会社

登録No.FWD-C3476-2006

# 秦野市地域生活支援センター「ぱれっと・はだの」見学報告

12月15日、地域で安心して暮らすための生活支援をコーディネートしてくれる地域生活支援事業所の見学を行いました。地域生活支援拠点は12市町村しか整備されておらず、神奈川県障がい福祉計画には令和5年度までに33市町村(全市町村)の整備促進に向けた支援をしていくと位置付けています。当センターは先進する長野県への見学を重ね当事者団体と共に早期に立ち上げました。その実績は未整備の市町村にとって学ぶべきものがあり、既に整備されている自治体も運用状況の検証をして、さらなる整備が求められます。

**《事業所紹介》** (一社) 秦野市障害者地域生活支援推進機構 常務理事 山口 浩氏 秦野市では、総合計画基本計画及び障害者福祉計画において、相談支援・就労支援・地域生活支援の機能を備えた「障害者地域生活拠点の整備」を位置づけ「ぱれっと・はだの」を平成 29 年 10 月に開所しました。設置場所は秦野駅から徒歩 8 分程度で、鉄骨造・2 階建て、床面積 421.5㎡の建物です。この施設は市当局をはじめ市内の当事者団体(身体・知的・精神)や障害福祉関係法人が一致団結して立ち上げたもので、設置及び運営は当法人が行っています。

\*施設内には既に事業活動中の「特定非営利活動法人総合福祉サポートセンターはだの」も一緒に 入り成年後見事業を実施しています。

【行動指針】当法人は地域共生社会の実現を目指します。

- 【ビジョン】\*障害者の地域での安心、安全な日常生活 及び社会生活の実現に寄与する。
  - \*相談支援、就労支援、地域活動支援等、 権利擁護に関する総合的な障害者地域生 活支援サービスを提供する。
  - \*地域・多世代との交流促進を通じて共に 生きる地域社会作りを目指す。



【体制と対応】社会福祉士・精神保健福祉士・主任相談支援専門員を配置し、一般相談・就労相談・ 地域活動・成年後見の事業を展開しています。また、地域交流の場として「ともしび ショップにじ散歩」を併設していますので、お近くに来られた際には日替わりランチ 等をご賞味下さい。



#### ◇見学した方からの感想◇

- ・「ぱれっと・はだの」は、他市町村ではあまり例の無い、拠点となる建物を新たに建てたやり方です。秦野市の障がい福祉に対する姿勢と、障がい当事者団体の熱意が上手くマッチしたのだと感心しました。 (茅ヶ崎支部 瀧井 正子)
- ・「ぱれっと・はだの」は、多機能拠点型で生活相談や就労支援の相談窓口が集約され、利用し易い 仕組みです。体験利用など、整備されてない部分の構想も聞かせて頂き、大変勉強になりました。 (二宮支部 北山 弓子)
- ・相談に対しては個にとことん向き合う姿勢。緊急時対応も施設事業所と繋がり、お試しを柔軟な方法で考えている。日常生活の心配事を聞いてもらえるこの支援センターの働きは地域で自分らしく生きていくために大きな存在と感じる。 (いんくる 土屋 郁英)



#### 成人された方・保護者の方より

- ・大変な時期もありましたが、無事に成人を迎えられた事を嬉しく思っております。
- ・就職できるように頑張りたいです
- ・これからも、親子で健やかに、笑顔が溢れる楽しい毎日を送りましょう。~父より~
- ・成人のお祝いをしていただきありがとうございます。体に気をつけてがんばります。
- ・たくさんの方に支えて頂き、笑顔いっぱいの嬉しいこの日を迎えることが出来ました。
- ・現在大学で学んでいる会計学を活かして、将来社会に貢献できる人になりたいです。
- ・頂いた時計でアラームをセットして、毎日元気に起きています!

※神奈川県手をつなぐ育成会では、成人された方に毎年お祝いのプレゼントをお渡ししています。 成人された皆様のこれからの日々が幸せで健康でありますように!

#### 編集後記



何か苦境に立たされる度に家族、支部、友人に支えてもらいここまで来ました。コロナ禍でも繋がる大切さを感じつつ、繋がりが欲しいのは息子も同じ。相談支援員とのモニタリングで息子の小さくなってしまった世界を見て「ここから変えなきゃ!」と反省。 (広報委員 鈴木 亜紀子)

